

川ごみサミット開催にあたって



2018年11月24日

全国川ごみネットワーク

これまでの経緯

①社会的背景

「海岸漂着物処理推進法」(2009年制定)

- ・回収、処理対策の継続、漂流・海底ごみ対応
＋普及啓発・発生抑制が今後の焦点に！

⇒2018年6月
改正

②市民団体の動き

- ・全国各地でも川ごみ対策が課題に・・・
- ・拾うだけでなく、川への流入を減らす根本解決が不可欠
.....1団体だけでは解決できない。
互いに情報交換しながら、解決に向かう！



川ごみサミット開催

- ・2013年市民団体間で、ゆるやかな連携・情報交換をスタート
- ・2015年全国川ごみネットワークを設立

第1回川ごみサミット



(2015.1.23-24)東京

第2回川ごみサミット



(2016.1.22)東京

第3回川ごみサミット 亀岡保津川会議



(2017.3.4)亀岡市

第1回川ごみサミット宣言

- 第1 課題の共有と目標の設定
 - 第2 解決に向けた方策の検討・立案
 - 第3 行動プログラムの実行と社会的制度の整備・構築
- これらの継続的な展開を行っていく

最近の動き

「海洋プラスチック憲章」に日本・アメリカ署名せず。

マイクロプラスチック
問題

6月 海岸漂着物処理推進法 改正

6月 第四次循環型社会形成推進基本計画閣議決定

企業の減プラスチックの取組

10月 環境省、プラスチック・スマートキャンペーン

プラスチック資源循環戦略



- 海洋ごみの多くが陸域起因であり、川はその経路。
河川へのごみの流入抑制が重要。
河川流域と一体となった「普及啓発・発生抑制対策」を。

第4回川ごみサミットin下諏訪 開催にあたって

〈開催趣旨〉

海に出る前に、川や湖、町なかのごみの発生抑制が大切です。

諏訪湖では、地域が一体となって水辺の環境改善に取り組み、その成果も表れています。下諏訪町では、40年近くにわたり地域住民が中心となり湖岸清掃に取り組んでいます。

今回のサミットでは、小学生も含めた地域の取り組みを聞くとともに、全国の河川・海洋環境保全に取り組む市民団体、個人、企業・業界団体、行政、学識者など多様な主体との意見交換・交流を行います。

世代をつなぎ、持続可能な活動をつないですすめる水辺のごみ問題の解決を皆で考えます。

14 海の豊かさを
守ろう

